

校内に歌声と楽器の音色が響く

9月に入り、秋の訪れが待ち遠しい中ですが、東小学校は一足早く「芸術の秋」に向けて準備を始めています。10月17日の音楽会に向けて、学年の歌や器楽奏が校内に響くようになってきました。個人での練習を経て、少しずつみんなと合わせ始めた、というところでしょうか。テンポはゆっくり、一つ一つの音を確認しながらの演奏ですが、日々着実に上達しているのがうかがえます。



水曜日の全校音楽では、『イルカはざんぶらこ』に合わせて4分の3拍子のリズムを楽しみました。思わず体が動いてしまう軽快なリズム。授業中に聞こえてくる各学年の演奏も同じです。作業をしていると思わず足でリズムを取ったり、口ずさんでしまったり。そんな時はいつも、音楽には人と人をつなぐ力があるなと感じます。

音楽会に向けての日々は、教科としての音楽の「資質・能力の育成を目指す学習」という一面の他に、「発表会に向けての練習」という側面もあります。むしろ子どもたちにとっては、後者の意識の方が強いように思います。いい演奏をしたいという強い気持ちに支えられて、音楽の力が高まっていく、音楽が好きになっていく絶好の機会です。もちろん得手不得手はありますが、音楽って楽しい、演奏するって気持ちいいと感じられる音楽会を目指していきたいと思います。

教育実習 始まっています

9月2日（火）より、教育実習の先生をお迎えしています。主に2年生に所属し、4週間実習を行います。